

1 競技規則

令和元年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに大会規定に準じて行い、児童の年齢段階を考慮して、特に教育的配慮のもとに競技を進行する。

2 監督・競技者注意事項

(1) 全般

- ① 競技に際してはスパイク（スパイクピンは、オールウェザー用9ミリ以下のピン使用）又はシューズを使用すること。
- ② ナンバーカードは、支給されたままの大きさを胸・背部につける。（腰や腹の部分につけない。）ただし、跳躍競技に出場する場合は、背または胸につけるだけでもよい。また、友好レース（100m）に出場する選手も支給されたナンバーカードをつけて出場する。
- ③ 腰のナンバーカードは写真判定のため右腰のやや後方につけること。
- ④ 競技者の集合場所は第2ゲートとする。集合場所には、競技に出られる服装でナンバーカードをつけて集合すること。集合時刻に集合場所にいない場合は棄権として処理する。

(2) トラック競技

- ① スタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。
 - ② スターティングブロックを使用する場合は、競技場備え付けのものを使用すること。（使用しなくてもよい。）
 - ③ スタートで同じ競技者が2回不正スタートをしたときは、その競技者を失格とする。ただし、失格となった競技者はオープンとして引き続きレースに参加させる。（順位には含めない。）
 - ④ トラック競技決勝進出者の決定に際して同記録者があった場合は、規則第167条により処理する。（タイムにより次のラウンドの出場者を決めるときに同記録者があるときは、写真判定主任が1,000分の1秒で記録された競技者の実時間を考慮しなければならない。もしこのようにしても解決できないときは、同記録の競技者は次のラウンドに進める。それが不可能であるときは、抽選によって次のラウンドへの進出者を決める。）トラック競技決勝進出者の決定に際して同記録者があった場合は、規則第167条により処理する。
- ※ 本大会は、予選をタイムレースで行い、A・B・C決勝を行う全国大会の競技方法とは異なる。（リレーも同じ）
- ⑤ スタートのコールはイングリッシュコールとする。（リレーも同じ）

(3) リレー競走

- ① 男女各2人で編成され走順は自由とする。
- ② 予選の走順及び友好レース（控え選手の100m走）の出場競技者名をリレーオーダー表に記入し、9時までに郡市受付へ提出すること。
- ③ 決勝のリレーオーダー表は、招集完了時刻の60分前までに招集所へ提出する。
- ④ リレー競走に出場する選手のユニフォームは、原則としてチームの全選手とも同一デザインとする。ただし、男女による型の違いは認めるものとする。
- ⑤ バトンは競技場備え付けものを使用する。
- ⑥ リレー競走におけるテイク・オーバーゾーンは基準点から手前20mから後ろ10mの合計30mとする。テイク・オーバーゾーン外から走り出してはならず、ゾーンの中でスタートしなければならない。
- ⑦ マーカーは各チームで用意する。各走者が使用できるマーカーは1つとする。レース後、次走者のつけたマーカーを必ずはずすこと。
- ⑧ 各走者は危険防止のため、走り終わってから自分のレーンを走り、他のレーンに入らないこと。レース後、審判の指示に従い退場すること。

(4) コンバインド競技

- ① コンバインド競技Aは80mハードル走と走高跳の2種目の合計得点とする。

ア ハードル競走

- (ア) スタートから第1ハードルまでの距離は13mとする。
- (イ) ハードル間は7mとする。
- (ウ) 最終ハードルからゴールまでは11mとする。
- (エ) ハードルの高さ70cmを9台で行う。
- (オ) 風速は得点・順位には影響しない。

イ 走高跳

- (ア) 走高跳（はさみ跳び）は、マットへの着地は足裏からとし、背、腰などからの着地は無効試技とする。
- (イ) 試技を2回続けて失敗した時点で終了とする。
- (ウ) 走高跳のバーの上げ方は以下のとおりとする。

区分	練習	試 技						
男子	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	以後、3cm
女子	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	刻みで上げる。	

- ② コンバインド競技Bは走幅跳とジャベリックボール投げの2種目で合計得点とする。

ア 走幅跳

- (ア) A、Bピットに分かれて2回の試技を行う。
- (イ) 風速は得点・順位に影響しない。

イ ジャベリックボール投

- (ア) 試技順に従って1回ずつ投げ、2回の試技を行う。
- (イ) 助走距離は15m以内とし、投げた後もスターティングラインを超えてはいけない。
- (ウ) 測定方法は器具が地面に最初に触れた地点から計測する。
- (エ) 競技会実施中に器具の破損等が確認された場合、審判員の判断により除去するものとする。
- (オ) 禁止事項として、羽を持つての投てきや回転投げを禁止する。

- ③ 日本陸連が作成した得点表に基づき、コンバインドA・Bともに合計得点で順位を決定する。
（『JAAF 小学生混成競技得点表(2019)』は、日本陸上競技連盟のホームページにて公開）

- ④ 100点以下の記録は、全て100点とする。

- ⑤ スタートまたは試技を行い、参考記録（80mハードルにおけるオープン参加時の記録）、記録無し、失格の場合は、50点（参加点）とする。

- ⑥ スタートまたは試技を行わない場合は、棄権とし、0点とする。

- ⑦ 最初の種目で棄権した競技者は、2種目には出場できない。

- ⑧ コンバインド競技の合計得点と同じ場合はすべて同順位とする。同点者の全国大会への進出は、抽選で決める。

(5) 表彰

- ① 表彰は各種目8位まで行う。

※ 本大会は、全国大会の表彰の形式とは異なる。

- ② 8位までの入賞者は、競技終了後のアナウンスに従って、地下1階エントランスロビーに集合する。

(6) その他

- ・ 競技場の開門は7時とする。
- ・ 南B駐車場は競技役員専用とする。
- ・ 全競技終了後、各種目（1000mを除く）の優勝者（全国大会出場者）に説明会を行う。優勝者はアナウンスに従って、保護者、指導者同伴で地下1階エントランスロビーに集合する。